

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ぱれっと		
○保護者評価実施期間	R8年1月20日		～ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	R8年1月20日		～ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。	活動に応じて、部屋を分けている。 絵カードや写真などを活用している。	手順を構造化していく。 (身支度、トイレ、製作などを①～④の 順番カードで提示していく。)
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	朝、夕方と掃除をし、清潔を保てるように心掛けている。	感染症が流行らないようこまめな消毒を徹底していく。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	お迎え時に保護者とコミュニケーションをとる中で、こどもの様子を共有し、課題への取り組みを話し合う事が出来ている。	保護者の方が話しやすい環境を作っていく。 ゆっくり話せる時間を確保していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターとの交流。	交流する機会がない為、センターとの連携は、あまりとれていないと感じる。	児童発達支援センターの見学に積極的に行き、交流できる機会を作っていく。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会。	ペアレントトレーニングなどは行っているが、参加者が少ない。 (何をするのか不安だったり、予定が先に入ってしまった)	研修会で行う内容を資料化し、保護者の方の興味を引き出していく。また、保護者の方が困っていることについての研修会を行い、参加してよかったと感じてもらおう。研修会の予定を2か月前に告知する。
3	個人情報の取扱いについて。	不安を感じている保護者の方がいらっしやう。	個人情報の取り扱いについて通信などで記載し、安心できる材料を作っていく。 また、個人情報に当たる話を行う時は、応接室に移動する。